

杉田玄白書「醫事不如自然」  
(大阪大学適塾記念センター蔵)

本年が杉田玄白没後200年にあたることから、福井県出身の蘭学者・杉田玄白の文学者としての側面に光を当てた展覧会を開催します。あわせて、人間の体や健康、医療をテーマに作品を書いた本県出身のかこさとし、山崎光夫を紹介します。

小浜藩医の杉田玄白はオランダ語で書かれた解剖書を翻訳し『解体新書』を刊行します。これは日本の医療が近代化するきっかけとなりました。このほか、翻訳への情熱や苦労を語った『蘭学事始』、医師としての心得を説いた『形影夜話』など随筆の作品も多く書き残しました。

かこさとしは、「からだの本」シリーズや『はははのはなし』など、体の構造や仕組みを子ども向けに分かりやすく描きました。作品の中で子どもの成長と健康をとりまく問題に触れ、現代人の生活に警鐘を鳴らしています。山崎光夫は、芥川龍之介自死の謎を追った『藪の中の家』や、根絶した天然痘ウイルスが現代に蘇る『ジェンナーの遺言』など、医療の視点から社会や人物を描いた作品を多く発表しています。

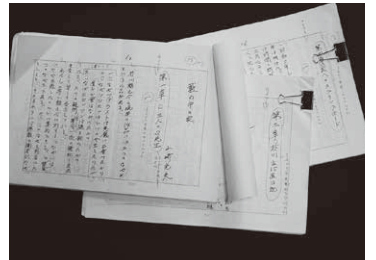
本展では福井ゆかりの偉人、作家の医に関する文学作品を通して、現代人の生活や生き方を振り返ります。



『解体新書』(福井県立図書館蔵)



かこさとし『むしばミュータンスのぼうけん』複製原画



山崎光夫『藪の中の家』原稿(個人蔵)

※会期中、一部資料の展示替えを行います。

## 関連イベント

### ◆講演会

「発見！ 医文学の愉しさ——なぜ医学を書くか」

医療をテーマに書き続けている山崎光夫氏に、これまでの執筆活動や福井の思い出などについてお話しいただきます。

講師：山崎光夫氏(作家)

日時：8月20日(日) 14:00~15:30

会場：福井県立図書館 多目的ホール

定員：150名(要申込)／参加費：無料



#### プロフィール

1947年、福井市生まれ。

「安楽処方箋」で小説現代新人賞受賞。

「サイレント・サウスポー」他2作で直木賞候補。

『藪の中の家』で新田次郎文学賞受賞。

### ◆文学カフェ

「かこさとし 創作の原点」

かこさとし氏の仕事を近くで支えてきた長女の鈴木万里氏に、作品の魅力やそこに込められたメッセージを語っていただきます。

講師：鈴木万里氏(かこさとし氏長女)

日時：9月9日(土) 14:00~15:30

会場：福井県立図書館 研修室

定員：30名(要申込)／参加費：250円(飲み物代)

※申し込み方法：イベント名、お名前を文学館あてに電話、FAX、メールでお申し込み下さい。



### ◆せっちゃんの紙芝居ライブ

作品：「杉田玄白『解体新書』ものがたり  
『6が6ちゃんはっはっは』

出演：津田節江氏

日時：7月23日(日) 14:00~14:30

定員：40名(当日受付)

会場：ふるさと文学館 映像ルーム／参加費：無料



### ◆文学キネマ

医療をテーマにした映画を上映します。

7月16日(日)「わが母の記」(2012年、118分)

原作/井上 靖、監督/原田真人

主演/役所広司、樹木希林

8月11日(金・祝)「ブラック・ジャック劇場版」(1996年、93分)

原作/手塚治虫、監督/出崎 統

9月10日(日)「遠き落日」(1992年、119分)

原作/新藤兼人、渡辺淳一

監督/神山征二郎、主演/三田佳子、三上博史

会場：ふるさと文学館 映像ルーム

時間：各日13:30~

定員：40名(当日先着)／参加費：無料

※12時より文学館カウンターで整理券を配布します。

### クイズラリー開催!

展示室にあるクイズを解いて、オリジナルグッズをゲットしよう! 会期中、文学館カウンターで受付。

©かこさとし 絵：『てとととゆびと』『わたしののうとあなたのこころ』(童心社)

## 福井県 FUKUI MUSEUM OF LITERATURE ふるさと文学館

〒918-8113 福井県福井市下馬町51-11

TEL: 0776-33-8866 / FAX: 0776-33-8861

E-mail: bungakukan@pref.fukui.lg.jp

HP: http://www.library-archives.pref.fukui.jp/

### アクセス

#### ●フレンドリーバス(無料)⇒

JR福井駅東口バスターミナルから約15分

#### ●路線バス⇒JR福井駅西口交通広場5番のりばから

市内バス(62系統・一乗谷東郷行き)約12分

#### ●自動車⇒北陸自動車道福井インターより約15分

国道8号線板垣交差点を東に折れ約900m

